

事業所名		社会福祉法人慈生会 放課後等デイサービスエスポワール		公表日		令和7年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用人数によって狭さを感じるが、テラスや多目的ホールの活用、活動をグループ分けして行っている。	テラスの老朽化があり、次年度改修を検討している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		児童発達支援責任者1名、児童指導員5名(兼務含む)を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		所定のものが所定の位置に、また特性に合わせロッカーや靴箱、席の位置が分かりやすいよう配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		利用終了後の清掃、使用物品の消毒を実施している。 活動に合わせ法人内の別建屋を活用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別対応やクールダウンに用いる部屋の用意がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		広く職員が参画している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートの結果や要望を支援者間で周知し、活動や企画に反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティング時に意見の聞き取りを行い、専従職員の話し合いのもと、業務改善を図っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による評価を受けていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		施設内研修、施設外研修を受講する機会がある。	オンラインの研修が中心となっており、集合型研修にも参加を検討したい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		R7年2月にホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		本人のニーズや課題、保護者からの聞き取りをもとに学校や併行利用する機関での取り組みを加味し、計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が立案し、直接支援にあたる職員の意見を取り入れながら計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書は職員の目の届く場所に配置し、計画内容の共有を図っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールの使用はないが、必要に応じて個々の行動観察を記録し、適応行動の状況の把握に努めている。	他事業所との情報共有のため標準化したアセスメントツールが必要と感じる事がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		R6年度から個別支援計画に本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携それぞれの目標を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		常勤スタッフを中心に立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		利用人数や年齢、特性に合わせて複数の活動を組み合わせている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		発達段階に合わせ、個別活動・集団活動それぞれに目標と課題を計画に反映している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		平日は定時のミーティングを実施している。休日や長期休暇中は引継ぎノートを活用し、職員間で情報を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		気づいた点や保護者からのご意見、ご要望などは日誌や引継ぎノートに記載し、翌日のミーティングにて周知共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		利用の都度、支援状況と特記事項を記録し、支援計画に反映している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		6か月に一度モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動によって選択場面を設定する、買い物体験などを通じ自己決定の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者もしくは準じる職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		関係機関においては特に子育て支援センターと定期的に情報を交換し合い、必要に応じて会議へ参画している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校ごとに年間行事計画や毎月の下校時間を主に紙面に連絡をいただいている。適宜、担任教諭との情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		新規利用に際しては、保育園や幼稚園、利用されていた事業所と情報交換を図っているが、今年度就学のケースはなかった。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		利用される障害福祉サービス事業者の求めに応じ、支援内容等情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		専門機関が主催するオンライン研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		現在交流の機会がない。施設外の資源を積極的に活用しており、地域のこどもと一緒に遊ぶ機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		法人として参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時や面談の際に情報交換を行うとともに、連絡帳を活用し、事業所での様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ペアレントトレーニングは実施していない。研修等のお知らせは掲示板への掲示やチラシの配布を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		新規契約時に書面と口頭で説明を行っている。支援プログラムはホームページにて公表している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		送迎時や連絡帳を活用し、ご家族の意向を確認している。	面談機会の少なさが課題となっている。定期的の実施できるよう調整を図っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談の申し出がある際には、十分に時間を設け話を傾聴し、適切な対応が出来るよう務めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者会がない。 法人内行事などご家族への参加を広く呼びかけ、家族間の交流が図れる機会を提供している。	家族参加型の行事等、開催を検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	苦情受付担当者、第三者委員、県社協（適正化委員会）の連絡先を重要事項説明書に記載、併せて掲示板に常時提示している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎月お便りを作成し配布している。 行事によっては紙面で詳細をお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	個人情報について同意書を頂き、それに基づいて取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	児童に対しては絵カードや写真、サイン等を活用している。保護者に対しては職員間で情報を共有したうえで関わられるよう努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	法人内の行事の開催をお知らせし参加を広く呼び掛けている。 地域の方々とは日常的に関わる機会がある。	家族参加型の行事や家族遠足など利用いただいている皆さんに公平に参加できる実施方法を検討していく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	各種マニュアルが策定されている。訓練を通じ職員への周知を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	年2回の訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	契約時に、服薬の有無やてんかん発作について確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	医師の指示書をご家族からいただき、支援スタッフ、調理スタッフと情報を共有し、食事を提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画が作成されている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	安全計画が策定されているが、家族への周知が不十分な状況にある。	HPでの公表等、周知方法を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	ヒヤリハットは日誌に記載し、周知を図っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	定期的にセルフチェックを実施し、会議の中で振り返りを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	対象ないが、身体拘束適正化委員会を設置し組織的に決定する仕組みがある。		